

住宅用分電盤 施工説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。

安全に関するご注意

警告

- ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。
火災になる恐れがあります。

注意

- 連続通電電流は主幹ブレーカ定格電流の80%以下で必ずご使用ください。
盤内温度が異常に高くなる恐れがあります。

施工上のご注意

■施工に関するご注意

- この住宅用分電盤は1φ2W 200V専用です。
- 盤定格電流を越える主幹ブレーカは取付けしないでください。
- 導電部の接続ねじは、右表の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。
- 導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむ恐れがあるため増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- 圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。
電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及び接続部からの仮配線は行わないでください。

導電部の接続ねじ適正締付けトルク

ねじの呼び径	締付けトルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.0
M8	5.5～7.0

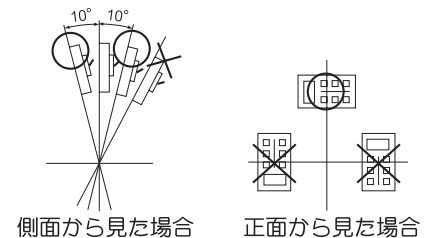
備考：機器端子M5圧着方式の場合は2.0～2.5N・m

主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐 ブレーカの定格電流	電源サイズ
20A	Φ1.6, Φ2.0
30A	Φ2.6, 5.5～8.0mm ²
40A	8.0～14.0mm ²
50A・60A	14.0～22.0mm ²
75A	22.0～38.0mm ²
100A	38.0mm ²
150A	38.0～60.0mm ²

■設置に関するご注意

- 住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。
戸棚・便所・浴室などの内部には取付けしないでください。
- 高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。
屋外や雨のかかる場所には使用できません。
- 住宅用分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。
凹凸のある場所へ無理に取付けしないでください。
- 住宅用分電盤は、右記図中に示す範囲内で使用してください。
- 住宅用分電盤の前には、障害になるようなものを置かないでください。



■使用上のご注意

- 線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。

NTO 蓄熱回路用ホーム分電盤 施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用くださいまして誠にありがとうございます。施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。又、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
尚、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書は所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

工事に際してのご注意

■取付けについて

- 本体の取付けは、天井・壁等の面から本体までに15mm以上、下側面から30mm以上の間隔をあけて取付けてください。カバーの取付け取外しが困難となります。
- 本体の取付けは、平らな面に取付けてください。凹凸のある場所へ無理に取付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。また、適切なねじ締付力で取付けてください。ねじの締付過ぎによって本体がひずむことがあります。
- 本体の取付け・配線時、内部に切粉やゴミが入らないよう養生などの処置をしてください。切粉やゴミがかかると故障の原因になります。

■露出取付け

- ボックス底面の配線孔にあわせて壁に必要な穴を開けてください。

■半埋込取付け

- 壁に半埋込用の穴を開けてください。

穴開け寸法

ヨコ: 本体ヨコ寸法 - (15~20)mm

タテ: 300~305mm・フカサ: 30mm

ボックス底面の取付用穴を利用して、ねじなどでボックスを固定してください。ねじ止め部には支持材などにて補強してください。(開口寸法が小さい場合や大きすぎる場合に無理に取付けるとボックスが変形する恐れがあります。)

■カバーの取外し方

- パネル下部のプッシュボタンを解錠位置にして押しながらカバーを手前に持ち上げてください。

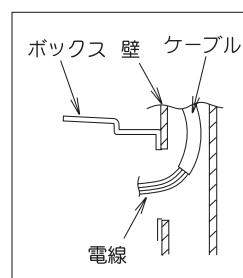
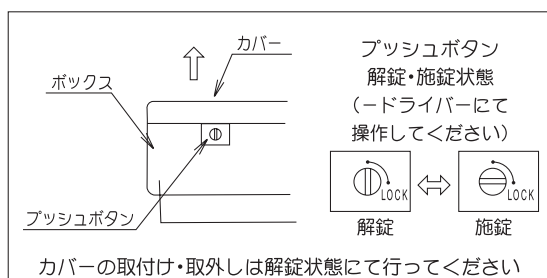
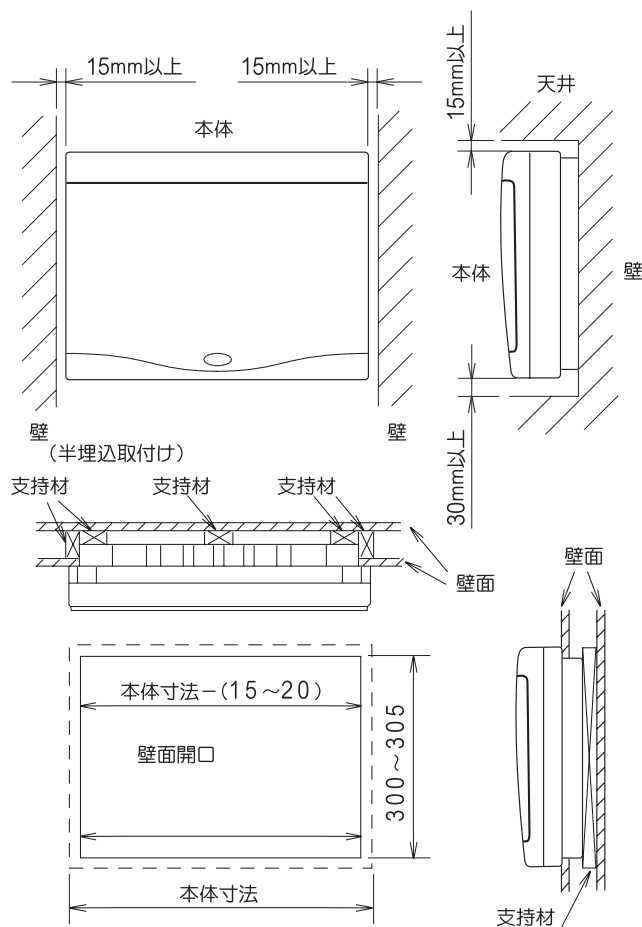
■ケーブルの引込みについて

- 分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形する恐れがありますので注意してください。

右図のように分電盤の外でケーブル被覆をむいて入線するなどして、分電盤内の機器への影響を少なくしてください。

■送り端子への電線接続

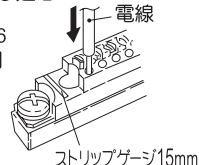
- 送り端子(M6)への電線接続は圧着端子を使用してください。
- 端子ねじは標準締付トルクで確実に接続してください。
標準締付トルク 3.0~4.0N・m
- 接続可能電線サイズは14mm²までです。



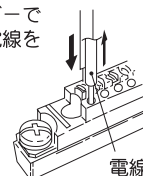
■アース端子への電線接続方法

- 接続
奥まで差し込む

φ2・φ1.6
Cu単線用



- 取外し
ドライバーで
押し電線を
引き抜く



施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様等お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。